

くまがや男女共同参画推進プラン年次報告書
(令和3年度施策別達成状況) について (概要)

1 推進プラン及び年次報告書について

くまがや男女共同参画推進プランは、3つの大きな基本目標とその課題、課題解決のための施策の方向及び各施策の具体的事業を体系化し、男女共同参画に関する各分野での施策を総合的かつ計画的に推進しようとする基本計画である。

年次報告書は、各課が所管する関連事業について、前年度実施事業の評価と今年度以降の展開をまとめ、各施策の適切な進行管理を行うために作成するものである。

2 令和3年度施策別達成状況について

令和3年度の推進プランの各関連事業は、267事業のうち221事業が「順調である」「おおむね順調である」と評価され、事業全体の82.8%が順調に推進されていることが認められた。

(1) 目標Ⅰ「人権尊重の視点に立った男女共同参画の意識づくり」について

目標Ⅰについては、3本の主要課題に対し18施策77事業が該当した。「順調である」または「おおむね順調である」と評価した事業は59事業あり、主に「学校教育等における男女共同参画の推進」や「男女の性と人権を尊重する意識づくり」に関する施策において良好に進捗しており、教育現場等における男女共同参画の意識づくりが進んでいると認められる。

(2) 目標Ⅱ「あらゆる分野における男女共同参画の推進」について

目標Ⅱについては、5本の主要課題に対し36施策158事業が該当した。「順調である」または「おおむね順調である」と評価した事業は132事業あり、「貧困・高齢・障害等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備」に関する施策が良好に進捗しており、困難を抱えた女性等が暮らしやすい環境づくりが充実してきたことがうかがえる。

一方、「自営業や農業等の分野における女性の参画促進」「審議会等への女性の参画促進」や「防災分野における女性の参画拡大」の取組が遅れている傾向にあ

る。そのため、より一層の農業分野や審議会、各種団体への積極的な女性登用を進め、男女共同参画の意識づくりを進めていく必要がある。

また、女性が働くために欠かせない「子育てや介護支援の充実」についてもある程度効果を上げているが、今後も引き続き多様な保育サービスの充実や高齢者等に対するサービスの充実に取り組んでいく必要がある。

(3) 目標Ⅲ「配偶者等からの暴力の根絶に向けた社会づくり」について

目標Ⅲについては、2本の主要課題に対し6施策32事業が該当した。「順調である」または「おおむね順調である」と評価した事業は30事業あり、「当該年度予定なし」と評価した事業は2事業であった。ほとんどの施策が良好に進捗しており、被害者及びその子に対する相談・生活支援が関係機関との連携を図りながら適切に実施されていることがわかる。

今後も引き続き、DV防止のための啓発活動、早期発見への取組、相談体制の充実等に取り組んでいく。

3 今後の取り組みについて

令和3年度は、各課の工夫によりコロナ禍においても効果的に事業を進めていることが伺え、「順調である」「おおむね順調である」と評価した事業は、令和2年度と比較し、全体で17事業増加、コロナによる影響等のため「当該年度予定なし」と回答した事業は、7事業減少した。

しかし、依然として新型コロナウイルスの流行により中止や変更等せざるをえない事業があるため、「当該年度予定なし」等と評価した事業がまだ多数残っている。男女共同参画社会の実現に向けて、コロナ禍における事業の実施方法等を工夫しながら、各課において今後も継続的に効果的な事業実施に努めていく必要がある。